

反対訴え 住民ら協議会

沖美の汚染土壌処理場建設計画

江田島市沖美町の汚染土壌処理場の建設計画を巡り、同市の全11漁協や住民団体、個人が26日、建設反対を訴える協議会を結成した。4月末までに計画の即時中止を求める署名1万人分を集める。

(貞末恭之)

中止へ署名1万人目指す

結成大会を同市能美町の市農村環境改善センターで開き、約400人が参加した。代表に就任した美能漁協の久保河内鎮孝組合長が「漁業への風評被害につながる。汚染土は絶対に持ち込ませない」と呼び掛けた。

漁業者や地元のまちづくり協議会の関係者、移住者たちも「沖合に約800のカキいかだがあり、事故が起ると致命的だ」「市が進める定住促進策にも悪影響が出

る。協議会の結成について、建設を計画する同市の解体業フルサワの吉沢成憲社長は「コメントする立場にない。時間をかけて丁寧に対応していく」と話している。